

職員の意識改革の具体策

習志野市では、集中改革プラン、人材育成基本計画などのもとで、職員の意識改革に対する取り組みを進めています。

◆ 現在実施中の取り組み

まちづくり会議と地域担当制

市民と行政が一体となって地域の問題を考え、市民との交流を通じ、市民の声を行政施策に反映させるとともに、市民と行政の相互理解を目的とした「まちづくり会議」に職員が参加することにより、役所内の縦割り組織にとらわれず地域のさまざまな課題に取り組んでいく中で、職員の意識改革を図る制度。

庁内分権型予算

各部局に配当した財源枠の中で、各部局が市民要望等を的確に把握し、実施する事業を主体的に取捨選択することにより、市民サービス向上のためにより有効的、効率的な財政運営を図る制度。

行政評価

事業実績の評価と公表を行うことにより、職員の経営的視点による行政運営、意識の醸成を図る制度。

人事評価制度

職員の働きがいや使命感を高め、能力や資質の向上を図る制度。

職員提案制度

職員の積極的な提案を奨励し、これの実現を図ることにより、職員の創造力、研究心及び市政運営への参加意欲を高めるとともに、行政能率の向上を図る制度。

◆ 新たに計画している取り組み

すごいぞ習志野2008事業

1 目的

本市の活力ある自治体経営の推進に資するため、各部局における先進的かつ代表的な取組事例を収集し、本市のPRとなる「すごいぞ習志野事例集」を作成、公表するとともに、優良な事業について担当部局を表彰することで、職員の士気高揚と意識改革を図る。

2 対象事業

前年度実施の事業で、各部局において国内・県内で先進的である、又は特徴的であると考えられる事業など、各部局の代表的な事業。

3 選考基準

提出された事業の中から、以下の点について評価し、選考する。

- ①先進性が認められ、今後の行政を牽引する取組み【先進性】
- ②独創性やユニークさが認められ取組み【独創性】
- ③市民サービスの向上効果が認められる取組み【有効性】
- ④財政健全化効果が認められる取組み【効率性・経済性】

課題、問題点を踏まえ、今後の事業展開の方針を示す。

※ 予算獲得や体制整備などにより、もう少しで「すごいぞ習志野」事業に該当しそうな取り組みを自薦してもらい、審査を行うことにより、その取り組みを後押しする制度として、「すごいぞ習志野」事業の関連事業として「がんばれ習志野」事業を計画中。

オフサイト・ミーティング

1. 概要

オフサイト・ミーティングとは、「職場での立場や肩書きをはずし、ざっくばらんな雰囲気、気楽にまじめな話をするミーティング」のことで、コミュニケーションが活発で風通しの良い職場を作るためのツールとして注目されている。

職場での立場や肩書き(site)をはずし、ざっくばらんな雰囲気、気楽に話し合い、聞き合おうというミーティングのことで、集中改革プランに位置づけられている。

2. 目的

第 1 に、コミュニケーションが活発で風通しの良い職場を作るきっかけとする。

第 2 に、副次的成果として職員間の問題意識と知恵の共有、人材育成を図る。

3. 手法

テーマを決めて、庁内全職員に参加案内を行い、午後 5 時以降に自主参加による自由な意見交換を行うオフサイト・ミーティングを開催する。

4. オフサイト・ミーティングのルール

- ①気軽に、まじめな話を心がけ、正当性のみを主張しない。
- ②結論を出すことを第 1 目的とせず、まずは、考えを表明することを第 1 とする。
- ③他人に一方的に自分の考えを押し付けるような発言はしない。
- ④お互い呼び名は「〇〇」と、さん付けで呼ぶ。